

イベント情報

12/10 土

盛岡北高校演劇部自主公演
『TWO』

作/成井豊 演出/櫻田夏帆

ある英語教師が旅をしている。しかしそれは彼が望んだことではない。自分の持つ力を隠すために様々な場所を転々としているのだ。そしてある場所へと辿り着く。そこで彼はある姉妹と出会うのだが…。



【日 時】12月10日(土)
開場13:30
開演14:00

【料 金】入場無料

【会 場】いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

【問合せ】盛岡北高校演劇部顧問
細川 019-687-2312

12/24▶25 土 日



【演 目】☆雪渡り ☆風の又三郎
☆どんぐりと山猫

【日 時】12月24日(土) 19:00
25日(日) 11:00/14:00

※開場は開演の30分前。上演時間は約60分を予定。

【会 場】いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

【料 金】大人 前売1,000円/当日1,200円
子供 前売 500円/当日 700円

【問合せ】菅原 090-2978-0791
※前売り券についても受け付けます。

いわてアートサポートセンター

黒猫舎第7回公演
子供も大人も楽しめる宮沢賢治童話
『イーハトーヴからやってきた三つのお話』

鉤屋町界限イベント情報

開催中▶12/25 日 クリスマス展

【日 時】12月25日(日)まで
10:00~17:00
木曜定休 ※入場無料

【会 場】町家サロンピッピ
盛岡市鉤屋町 3-6

【問合せ】019-626-2280

ちっちゃな
クリスマス展
ピッピ手芸教室
吉田真理子
カフェ DOMA にて
同時開催中!

発行所 特定非営利活動法人
いわてアートサポートセンター

【事務局/風のスタジオ・風のアトリエ】

〒020-0878 盛岡市肴町 4-20 永卯ビル 3 階
TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp

URL http://iwate-arts.jp

【窓口営業時間】13:00~19:00(平日)

【施設利用可能時間】9:30~21:30

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 盛岡市鉤屋町 10-8
TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp

URL http://machiya.iwate-arts.jp

【開館時間】9:00~19:00(入館は18:30まで)

※浜藤ホールのみ、利用時は21:30まで

【休 館 日】毎月第4火曜(休日の場合はその翌日)
年未年始:12/29~1/3

【入 館 料】無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

◎プレイガイドをご利用下さい!

いわてアートサポートセンター窓口と、もりおか町家物語館母屋案内所には、プレイガイドを設置しております。
販売手数料5%(消費税込み)で、イベントチケットをお預かりします。
直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。

もりおか町家・風の通信

12月号

今年も1年間
ありがとうございました。



もりおか町家物語館
キャラクター
町家のマチコ



主催事業

11/26(土) 12/18(日)

売り手よし / 買い手よし / 世間よし / ~南部もりおか物売りふれ声~

明治から昭和初期にかけて実際に盛岡近郊で聞こえていた「物売り声」を再生、再現します。物売りの声で季節を感じていた当時にタイムスリップいたしましょう。

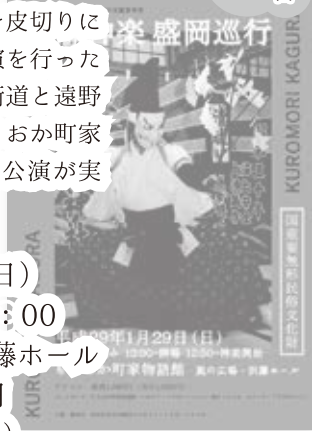


【日時】～12月18日(日)
【会場】大正蔵2階
【入場料】無料

黒森神楽盛岡巡行

1/29日

東日本大震災以降、ロシアを皮切りにフランスやアメリカでも公演を行った宮古市の黒森神楽。旧宮古街道と遠野街道が交わる場所に建つもりおか町家物語館で、15年ぶりの盛岡公演が実現します。



【日時】1月29日(日)
12:00-16:00
【会場】風の広場・浜藤ホール
【入場料】前売 1,000円
(当日 1,200円)

鈴江家の淡路人形講演会

12/11日

江戸時代初期から伝わる淡路人形。現在、「盛岡の人形浄瑠璃復活実行委員会」を立ち上げ、レプリカ作成や古文書の解析、北限の淡路人形芝居の再演や継承に向けた様々な取り組みを進めています。今回の講演会では、3名の講師を招き、各分野の専門家による新たな見解を発表していただきます。

【日時】12月11日(日)
14:00-16:20
【会場】浜藤ホール
【入場料】無料



事業報告①

澤田哲郎展—生涯三万マイ—



もりおか町家物語館の文庫蔵で常設展示されている「鉈屋町界隈ゆかりの著名な人」の中から、毎年一人に注目し紹介する企画展。今回は神子田出身の画家・澤田哲郎を紹介しました。晩年に描かれたサムホールを約40点展示、また若かりし時代の写真や新聞コラム、交流のあった人物をまとめた相関図など、澤田哲郎の人柄を探る内容となりました。素晴らしい絵だった、良かったという声をたくさんいただきました。ご来場いただき誠にありがとうございました。

事業報告②

森荘巳池劇場第3回公演

「春谷暁臥」の書かれた日/現代人形浄瑠璃『氷柱』

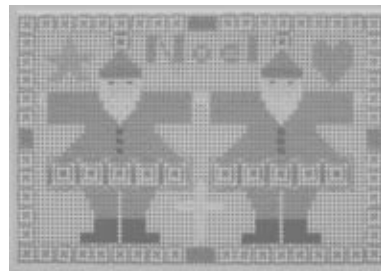


「氷柱」では三味線奏者・藤原翼さんの生演奏や、鉈屋町にゆかりのある淡路人形のレプリカを使い「現代版人形浄瑠璃」として役者が人形を操り演じました。また幕間では、コメディタッチに人形浄瑠璃が盛岡、鉈屋町に伝わった経緯と、鈴江家と森家が近隣であった話等も紹介し、緩急ある趣向を凝らした演出で、より魅力ある舞台となりました。お陰様で多くのお客様にご好評をいただきました。



カフェDOMAからのお知らせ

ちっちゃなクリスマス展 ~ピッピ手芸教室~



12月25日(日)まで会期延長!

パナマのモラ、アップリケ、刺繍、アールポイント

ホットワイン
はじめました!
期間限定 ¥480

カフェDOMA

営業時間 11:00 ~ 16:00

《定休: 毎週火・水曜日》

※カフェ営業時間以外でも、施設開館中は展示見学可能です。

11月まで火曜日を定休日としておりましたが、12月より火曜日・水曜日を定休日とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますがよろしくお願いたします。

リレーコラム No.8

『ジュニアオーケストラは未来を拓く』

「先生早く次の楽譜ください」と頼みに来たその眼差しは真剣そのもの。より難易度の高い、先輩たちが弾いている楽譜に早く進みたい意欲が子どもたちを動かしている。

「この難しい部分がクリアできたら次の楽譜に進めるよ」と話すと、必死で練習して頑張ってくる。そして新しい楽譜をゲットした満面の笑みは、満足感と希望にあふれているのだ。

現在、もりおかジュニアオーケストラ27名、奥州ジュニアオーケストラスクール31名、ジュニアアンサンブルみやこ12名、その他花巻などを加えると約80名の子どもたちが合奏に取り組んでいる。演奏レベルは現在では大人の団体を凌ぐ勢いで上達しているのだ。例えば、震災直後から始まった奥州ジュニアの子どもたちも全くの初心者からスタートしたのにもかかわらず、現在はヴィヴァルディの四季のソロを演奏できるレベルまで上達している。合同での演奏は、ヤングフェスティバルに出演して高評価を得、岩手芸術祭開幕式ではトリを務める大活躍であった。発足してからの共演者や指導者にも恵まれ、ウィーン・フィルとの共演や佐渡裕指揮、スーパーキッズオーケストラとの共演など、トップレベルとの共演が相次いだ。キャラバン・オーケストラ(2002年及び2005年に小澤征爾氏が主導して岩手をつアーしたメンバーを主とするオーケストラ)からの指導、伊藤奏子氏(BBCスコティッシュ交響楽団副コンサートマスター)などからのスペシャルレクチャーなど、多くの経験を経て着実に進化を遂げてきた。通常の活動をいわてフィルが担うことで、毎回専門的指導が受けられるメリットを活かし、驚異的な成長を見せている。また、神奈川のミュゼザ川崎での全国大会に多数参加。来春は、静岡での全国大会参加及び佐渡裕・スーパーキッズオーケストラとの再共演が企画されている。

いわて発スーパーキッズオーケストラも夢ではなくなっている。子どもたちの真剣な取り組み姿勢と熱い家族のサポート、そして施設・ホールスタッフの専門的支援によって今後も活動が活発化していくことが期待される。

いわてフィルハーモニーオーケストラ 代表
宮古市民文化会館芸術監督 寺崎 巖